

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	基礎演習Ⅱ	小林 俊哉	1 年次	秋

授業のキーワード	マスメディア、メディアリテラシー、新聞、テレビ、ニュース
授業の概要	ありとあらゆる情報が氾濫するメディアをどのように考え、またそれとどのようにつきあうのか。その基本的なスキルを学び、メディアとの理想的な「つきあい方」を考えます。
期待される学習成果（目標）	1. マスメディアとは何か、またそれとの上手なつきあい方を理解できます。 2. さまざまなメディアについてそれぞれの特徴がわかります。 3. メディアに掲載されるさまざまなニュース項目を理解できます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	マスメディアとつきあうということはどういうことなのか、その基本についてお話しします。	第 9 講	テレビドラマについて (その 2)	前講に引き続き、テレビドラマについて考えます。
第 2 講	自分にとってのメディア	自分にとってそもそもマスメディアとは何か、どのような役割があるのかなどについて学びます。	第 10 講	ニュース報道について	ニュース報道にはどのようなものがあり、どのような構成を有しているのかなどニュースの基本を考えます。
第 3 講	これまでのメディア体験	メディアによってどのような個人的な影響を受けてきたのかを考えます。	第 11 講	ニュース報道について (その 2)	ニュースの取捨選択に伴う「価値観」について考えます。
第 4 講	テレビとの接触	最も身近なメディアの一つがテレビです。メディアとしてのテレビを考えます。	第 12 講	ニュース報道について (その 3)	ニュースに取り上げられる人を一つの手がかりに、ニュースの特性を考えます。
第 5 講	メディアと流行・ゼミ論文	メディアと流行との関係について考えます。また期末に提出するゼミ論文についての説明を行います。	第 13 講	2016 年の大ニュース	2016 年に起こった大ニュースをふり振り返り、自分のニュースリストを発表します。
第 6 講	テレビコマーシャルについて	自分に影響を与えたコマーシャルは何かなどの視点で考えます。	第 14 講	まとめ	これまでに扱ってきた事項を振り返ります。またゼミ論文の仕上げ作業を行います。
第 7 講	テレビコマーシャルについて (その 2)	テレビコマーシャルの価値観とはどのようなものなのかについて考えます。	第 15 講	まとめ (その 2)	ゼミ論文の最終確認をした上で提出します。
第 8 講	テレビドラマについて	これまで視聴してきた、あるいは現在視聴しているドラマを手がかりにドラマについて考えます。	定期試験		期末に提出するゼミ論文を定期試験に代えます。
評価方法		不定期に行う個人・グループによる口頭発表 40% ゼミ論文 60%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
必要に応じて授業中に指示します					